

埼玉英よみうり

2021年(令和3年)5月14日(第937号)月2回発行

介護で奮闘、技能実習生

上尾ほほえみの杜

特別養護老人ホーム、上尾ほほえみの杜で中国から来た3人の技能実習生が日本の介護を学ぶために奮闘中です。



3人は西安の大学で介護を学び、北京等の介護施設で働いた後、日中介護事業交流協会の仲介で昨年11月に来日しました。

学校で日本語をしっかりと学んで来日した3人ですが、最初は利用者から話す方が分らず苦労することも多かったそうです。しかし真面目で優しく、明るく、頑張りの屋

の人柄はすぐに同僚や利用者を受け入れられ評判も上々。仕事をすると「ありがとう」「助かりました」という利用者の言葉が嬉しい、と3人は口を揃えます。

仕事の合間に施設に咲く桜の花に春を感じ、施設から見える富士山を眺めながら「いつかは登ってみたいな」と夢を膨らませているそうです。

3人の目標は介護福祉士を取得して中国に日本の介護を伝えること。施設を運営する社会福祉法人竹柿会の吉田優理事長は「言葉の壁もあるなか頑張っています。将来介護の世界で活躍できるように研さんに励んで欲しい」と話しました。